



サービス・ツーリズム産業労働組合連合会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-5-6 造船会館4F
TEL 03-3230-0465 FAX 03-3239-1553
E-mail: stu@stu.ituc-rengo.jp
発行人 高橋 征夫



2003～2004年度運動方針を確認し 結成2年目の運動をスタート

第3回定期大会を開催

サービス連合は、7月23日に東京・ホテルラングウッドにおいて「第3回定期大会」を開催しました。定期大会には役員・代議員・傍聴者など約350名が出席し、「2003春季生活闘争のまとめ」や「2001～2002年度運動のまとめ」、「2003～2004年度運動方針」などの議案を熱心に討議し、各大会議案を原案どおりに採択しました。続く7月24日にはホテル・レジャー部会、観光・航空貨物部会の「第3回部会定期総会」が開催され、各部会の「2003～2004年度運動方針」などの議案が採択されました。厳しい産業環境が続くなか、「10万人構想の着実な進展」と「産別機能の整備と運動の定着」をめざして、サービス連合結成2期目の運動が、力強くスタートします。

350名が出席し熱心な議論

定期大会は、島代議員（札幌国際観光）、高梨代議員（近畿日本ツーリスト）を大会議長団に選出して議事に入りました。冒頭のあいさつで笠原会長は、この2年間に中期的運動方針議論の基盤が大きく変化していると分析し、2003～2004年度の運動は引き続き「10万人構想の着実な進展」と「産別機能の整備と運動の定着」を基本認識に、「組織拡大」「変革期のなかで運動の改革」「財政の健全化」を重点課題として、とくに「契

約社員やパートタイマーの組織化」は“決して後戻りの出来ないテーマとして、全力で取り組む”ことを提起しました。

続いて連合を代表して笹森会長は、2年間全国各地を訪ねてみて、労働者の雇用と生活は危機的状況にあり“企業別組合からの脱却”が必要だと実感した。連合はこれまでの“内部完結型運動の打破”をめざして、さらに組織拡大と政策制度改革の運動強化に全力で取り組みたいと決意を述べました。

また、航空連合の石川会長は、「空の安全」を求める独自の政策要求の取り組みを報告されるとともに、隣接する産業に働く仲間としての今後の連携と協力の強化を訴えました。

2003～2004年度 運動方針

「組織拡大」と「財政再建」が急務

定期大会では、熱心な議論の末にすべての議案が賛成多数で原案どおりに可決採択されました。結成2期目となる「2003～2004年度運動方針」では、2002年度で経営破綻による組合解散が相次ぐなど、組織拡大の努力の一方で2,000名以上の組合員が減少するという厳しい組織状況をふまえ、重点課題として①組織拡大と産別機能の強化、②変革期のなかでの産別運動の改革、③財政の健全化、の3項目に取り組むことを確認しました。

契約社員などの組織化に“交付金”

組織拡大の目標は、2～3年間で組織人員45,000名到達へ、4,000名の新規拡大をめざします。このため、各加盟組合は増加する契約社員やパートタイマーの組織化に積極的に取り組むこととし、大会後から新規登録される契約社員やパートタイマー組合員については、月例給契約者については月額200円、時間給契約者には同500円の組織拡大交付金を支給します。

また未組織対策の抜本的強化のために、本部に2名（組織局長・同次長）の専任役員を配置することとしました。

2年後目途に“財政問題”の方向性

産別運動の改革については、従来型の運動からの脱却と社会的に存在価値のある運動をめざして、「産別基準のあり方」「組織拡大と今後の課題」「均等待遇と格差是正」「ワークシェアリング」「サービス連合の政



円滑な議事進行を果たした
島議長（左） 高梨議長（右）



代議員の挙手で大会議案を採択

策ビジョン」などを中期的な運動テーマに位置づけて、まずは学習や議論を深めていきます。

財政の健全化に向けては、組織拡大と財政均衡の状況を検証しつつ、2年後を目途に本部・部会・地連の専従体制や組合員の範囲拡大にともなう産別会費のあり方などを含め、財政問題全般の方向性を打ち出していくこととしています。

経営対策に“財務分析能力”を向上

さらに具体的な運動課題では、企業の存続や雇用に関わる経営問題に対処するために、経営・財務状況全般にわたる「総合労使協議体制の確立」をめざして財務分析能力の向上に取り組みます。

労働条件に関する課題では、①成果主義賃金、業績連動型一時金の導入に備えた中期的賃金政策、②「モデル労働協約」の制定（中央委員会で確認予定）、③60歳以降の雇用確保、④所定外労働の削減と不払い残業の撲滅、などに取り組むことが確認されました。

新規加盟の仲間を歓迎

定期大会では、今年1月の中央委員会以降にサービス連合に加盟した「世界ツーリスト労組」武田副委員長と「ルネッサンスリゾートナルト労組」宮崎委員長が紹介され、満場が歓迎するなかでそれぞれ新たな仲間としての決意を表明しました。

この1年間にサービス連合に新規加盟した組合は次のとおりです。

（■印が定期大会で紹介された組合です）

<2002年度新規加盟組合>（人数は結成時・加盟時の組合員数）

| | | |
|---------------------|---------------|-----|
| ジェイティーピーカーゴ労働組合 | 2002年11月16日結成 | 56名 |
| ■世界ツーリスト労働組合 | 2003年3月27日結成 | 10名 |
| ■ルネッサンス リゾートナルト労働組合 | 2003年5月6日加盟 | 26名 |
| バレンタインユニオン | 2003年7月14日結成 | 18名 |

「バレンタインユニオン」を結成

定期大会直前の7月14日に「バレンタインユニオン」（恩田実委員長、組合員18名）が結成され、ただちにサービス連合に加盟しました。岡山県作東町の「作東バレンタインホテル」の従業員で構成する同労組は、連合岡山の協力を受けて今年4月から着々と準備を進め、見事に組合結成を果たしました。

交渉日程のため、残念ながら定期大会には出席できませんでしたが、新たな仲間に加わった同労組の、今後の活躍が大いに期待されます。



緊張と感激の結成大会

新執行部を選出 笠原会長を再選

定期大会の最後には2003～2004年度本部役員を選出。笠原会長を再選するとともに新事務局長には数村氏（日本旅行）が就任しました。

また、翌日の両部会総会では2003～2004年度部会役員が選出

2003～2004年度サービス連合本部役員

| | | |
|-----------------|-----------|------------------------------------|
| 会 長 | 笠 原 豊 | 再任 (ジェイティービー) |
| 副 会 長 | 秋 山 邦 男 | 再任 (ホテル・レジャー部会会長：帝国ホテル) |
| 同 同 | 澤 川 寿 夫 | 再任 (都ホテルズ連合：全都ホテル) |
| 同 同 | 西 川 靖 彦 | 再任 (リーガ労連：ロイヤルホテル) |
| 同 同 | 伊 勢 典 生 | 新任 (全日空ホテルズ労連：エーエヌエーホテル) |
| 同 同 | 中 野 隆 雄 | 新任 (藤田観光) |
| 同 同 | 宮 坂 英 明 | 新任 (観光・航空貨物部会会長：日本旅行) |
| 同 同 | 戸 松 智 滋 | 新任 (ジェイティービー) |
| 同 同 | 根 本 健 一 | 新任 (近畿日本ツーリスト) |
| 同 同 | 松 本 達 也 | 新任 (東急観光) |
| 同 同 | 吉 田 征 哉 | 新任 (日本旅行) |
| 事 務 局 長 | 数 村 一 郎 | 新任 (専従：日本旅行) |
| 副 事 務 局 長 | 林 田 一 郎 | 再任 (ホテル・レジャー部会事務局長：都ホテルズ連合：都ホテル東京) |
| 同 同 | 小 田 幸 宏 | 新任 (観光・航空貨物部会事務局長：専従：ジェイティービー) |
| 組 織 局 長 | 後 藤 常 康 | 新任 (帝国ホテル) |
| 組 織 局 次 長 | 山 城 紹 彦 | 新任 (藤田観光) |
| 政 策 局 長 | 大 木 哲 也 | 新任 (近畿日本ツーリスト) |
| 政 策 局 次 長 | 片 岡 千 鶴 子 | 再任 (専従：ジェイティービー) |
| 同 同 | 岡 野 智 茂 | 新任 (東急観光) |
| 中 央 執 行 委 員 | 岐 智 幸 一 | 新任 (阪急ホテルグループ連合：第一阪急ホテルズ) |
| 同 同 | 池 田 智 幸 | 再任 (天成園) |
| 同 同 | 小 川 莉 花 | 新任 (全日空ホテルズ労連：エーエヌエーホテル) |
| 同 同 | 中 村 雅 信 | 再任 (専従：東武トラベル) |
| 同 同 | 林 山 智 弘 | 新任 (北海道地連：ジェイティービー) |
| 同 同 | 吉 田 博 司 | 再任 (関東地連：帝国ホテル) |
| 同 同 | 江 田 博 秋 | 新任 (中部地連：都ホテルズ連合：都ホテルズ東海) |
| 同 同 | 寺 田 憲 一郎 | 再任 (関西地連：都ホテルズ連合：全都ホテル) |
| 同 同 | 濱 崎 眞 一 | 再任 (中四国地連：リーガ労連：リーガロイヤルホテル広島) |
| 同 同 | 岡 之 治 | 再任 (九州地連：日本旅行) |
| 同 同 | 上 原 正 人 | 新任 (沖縄地連：都ホテルズ連合：沖縄観光開発) |
| 特 別 中 央 執 行 委 員 | 藤 藤 義 人 | 再任 (専従：労働情報センター：ジェイティービー) |
| 同 同 | 早 嶋 泰 司 | 再任 (専従：労働情報センター：近畿日本ツーリスト) |
| 同 同 | 高 橋 均 二 | 再任 (専従：連合本部派遣) |
| 同 同 | 傳 田 雄 二 | 再任 (専従：連合東京派遣：東急観光) |
| 同 同 | 西 康 夫 | 再任 (専従：フォーラムジャパン派遣：日本旅行) |
| 会 計 監 査 | 上 田 昌 克 | 新任 (都ホテルズ連合：都ホテル大阪) |
| 同 同 | 高 橋 淳 一 | 新任 (日本航空ホテル) |
| 同 同 | 大 矢 野 健 | 新任 (東急観光) |
| 同 同 | 田 中 明 | 新任 (東武トラベル) |

地連専従予定者

| | | |
|-----------|---------|-------------------|
| 北海道地連事務局長 | 佐 藤 公 一 | 再任 (専 従) |
| 関東地連事務局長 | 大久保 英 男 | 再任 (専従：ジェイティービー) |
| 中部地連事務局長 | 久 米 啓 治 | 新任 (専従：名鉄観光サービス) |
| 関西地連事務局長 | 角 本 和 久 | 新任 (専従：近畿日本ツーリスト) |

ホテル・レジャー部会役員 (四役まで)

| | | |
|-----------|---------|--------------------------|
| 部 会 長 | 秋 山 邦 男 | 再任 (帝国ホテル) |
| 副 部 会 長 | 澤 川 寿 夫 | 再任 (都ホテルズ連合：全都ホテル) |
| 同 同 | 西 川 靖 彦 | 再任 (リーガ労連：ロイヤルホテル) |
| 同 同 | 伊 勢 典 生 | 新任 (全日空ホテルズ労連：エーエヌエーホテル) |
| 同 同 | 中 野 隆 雄 | 再任 (藤田観光) |
| 事 務 局 長 | 林 田 一 郎 | 再任 (都ホテルズ連合：都ホテル東京) |
| 副 事 務 局 長 | 山 内 勇 治 | 再任 (帝国ホテル) |
| 同 同 | 安 岡 重 人 | 新任 (全日空ホテルズ労連：エーエヌエーホテル) |

観光・航空貨物部会役員 (三役まで)

| | | |
|---------|---------|------------------|
| 部 会 長 | 宮 坂 英 明 | 再任 (日本旅行) |
| 副 部 会 長 | 中 村 雅 信 | 再任 (専従：東武トラベル) |
| 同 同 | 池 永 一 雄 | 再任 (阪急交通社) |
| 同 同 | 青 沼 秀 一 | 再任 (近鉄エクスプレス) |
| 同 同 | 戸 松 智 新 | 新任 (ジェイティービー) |
| 同 同 | 根 本 健 一 | 新任 (近畿日本ツーリスト) |
| 同 同 | 松 本 達 也 | 新任 (東急観光) |
| 同 同 | 吉 田 征 哉 | 新任 (日本旅行) |
| 事 務 局 長 | 小 田 幸 宏 | 新任 (専従：ジェイティービー) |

され、秋山部会長（ホテル・レジャー部会）、宮坂部会長（観光・航空貨物部会）がそれぞれ再選されました。

新執行部の今後の活躍が、大いに期待されます。

<選出された本部新三役>



笠原会長



秋山副会長



澤副会長



西川副会長



伊勢副会長



中野副会長



宮坂副会長



戸松副会長



根本副会長



松本副会長



吉田副会長



数村事務局長

退任役員の方々を“慰労表彰”

定期大会では、本部役員を退任された次の方々の長年のご活躍に感謝して「役員退任慰労表彰」を行いました。

これまでの献身的なご活躍、本当にごくろうさまでした。

<本部役員を退任された方々>

| | |
|-----------|-------------------------|
| 前 副 会 長 | 鈴木 武 氏 (第一阪急ホテルズ) |
| | 松宮 郷 氏 (全日空ホテルズ労連) |
| | 浦野 修 氏 (ジェイティービー) |
| | 村瀬 孔一 氏 (近畿日本ツーリスト) |
| | 佐藤 博隆 氏 (東急観光) |
| | 村田 憲治 氏 (日本旅行) |
| 前 事 務 局 長 | 高橋 征夫 氏 (近畿日本ツーリスト) |
| 前 組 織 局 長 | 平井 文人 氏 (本部) |
| 前中央執行委員 | 篠原 茂雄 氏 (名古屋観光ホテル) |
| | 中村 譲 氏 (ヤマハリゾート) |
| | 武智 英雄 氏 (中の坊) |
| | 佐藤 昌宏 氏 (日本旅行北海道) |
| | 幸地 克則 氏 (沖縄観光開発) |
| 前 会 計 監 査 | 藤井 真悟 氏 (アキタニューグランドホテル) |
| | 大沢 明彦 氏 (東急観光) |
| | 川村 尚美 氏 (東武トラベル) |

ホテル・レジャー部会と観光・航空貨物部会の第3回定期部会総会は、第3回定期大会の翌日7月24日午前10時からホテルラングウッドにおいて開催されました。

両部会総会では、結成以来の2年間の部会活動のまとめを行うとともに、部会独自の取り組み課題を中心に、2003～2004年度運動方針を議論し、いずれも原案どおりに可決採択しました。

ホテル・レジャー部会 第3回定期総会

組織率向上と運動基盤の強化へ

ホテル・レジャー部会総会は、代議員、役員、傍聴者など約170名が出席して開催され、中本代議員（リーガ労連）、北山代議員（阪急ホテルグループ連合）を議長団に選出して総会議案の議事に入りました。

2001～2002年度運動のまとめでは「産業労使懇談会」の定例開催によって「労使による産業課題への取り組みの第一歩を踏み出した」と評価しつつも、経営問題や組織拡大の取り組みは一層の強化が求められると総括しました。

「企業内最賃協定」の取り組み強化

2003～2004年度運動方針では、まず運動の基調として、これまでの2年間と同様に厳しい産業環境と企業状況に対応しながら「生活の安定と雇用の確保」を最優先の課題と位置づけました。このため年間を通じた総合労使協議体制確立の取り組みを強化するとともに、運動機能の着実な前進をはかるためには組織率の向上が重要であるとして、加盟組合による契約社員やパートタイマーを対象とした組織拡大と運動基盤の強化をはかることが確認されました。

具体的な運動課題では、「産業労使懇談会」の定例開催を継



続し、賃金政策では引き続き「同一年齢者の前年年収の確保」を基本とする一方、「企業内最低保障賃金の協定化」を、組合員の範囲拡大と組織化に対応した重要課題として、積極的な取り組みを行うことを確認しました。

また、産業政策委員会は「ホテル・旅館の産業プロジェクト」の運営を中心に、労働情報センターと連携してホテル・旅館の動向調査を進めることとしています。

中期的で目標感ある運動を継続

観光・航空貨物部会 第3回定期総会

観光・航空貨物部会総会には、代議員、役員、傍聴者など約140名が出席、議長団には坂巻代議員（東急観光）、古川代議員（KWEグループ労協）が選出され、総会議事が開始されました。

まず、2001～2002年度運動のまとめでは、同時多発テロ、BSE（狂牛病）、イラク戦争、SARSと相次いだ逆風のもとで、「一時的な労働条件の凍結や切り下げなどもくぐり抜けながら雇用と労働条件の維持・向上を追求し、総合労使協議体制

の構築に取り組んできた2年間」とふりかえり、具体的な運動の経過を総括しました。

2003～2004年度運動方針では、引き続き「中期的で目標感をもった運動の継続」と「経営問題をはじめとする総合労使協議体制の確立」を運動の基調として確認しました。

「グループ企業の組織化」強化へ

具体的な運動課題としては、賃金方針では「定昇相当分の確保と同一年齢における年収の確保」を最低基準とする取り組みを継続する一方、一時金の要求水準（年間5.5カ月以上、夏期2.5カ月・冬期3.5カ月以上）のあり方について、見直しも含めた議論を開始します。

産業政策では、労働情報センターと共同で取り組んだ「シングル時代のツーリズム」の発行に続いて、2005年に予定される旅行業法改正にむけて、具体的な問題点の検証などの取り組みを強化します。

また組織拡大では、各加盟組合との連携のもとで、「組合員の範囲拡大と組織化に関するガイドライン」にもとづく契約社員やパートタイマーの組織化と「グループ企業の組織化」の取り組み強化をめざすことを確認しました。

